

第10回アジア植物遺伝資源 (PGRAsia) シンポジウム (ハイブリッド開催) のご案内

農研機構遺伝資源研究センターは、2020年度から農林水産省委託プロ「植物遺伝資源の収集・保存・提供の促進 (PGRAsia)」を実施しています。本プロジェクトでは、アジア諸国のジーンバンク等と農研機構を中心とする研究チームが連携して野菜を中心とする植物遺伝資源の探索収集と特性評価を共同で行い、植物遺伝資源の利用促進に取り組んでいます。

シンポジウムでは、最近のプロジェクトの成果をご紹介しますとともに、遺伝資源に関する講演では遺伝資源をめぐる情勢を紹介していただくこととしています。

皆様のご参加をお待ちしております。

【開催日時】：2023年10月31日(火) 13:00～16:00

【会場】：文部科学省研究交流センター 国際会議場
(茨城県つくば市竹園 2-20-5) ※対面および Zoom 配信での開催です。

【シンポジウム概要】

- 13:00 開会 司会: PGRAsia 事務局 (農研機構)
- 13:00-13:05 主催者挨拶 農研機構理事 中川路哲男
- 13:05-13:10 事業委託者挨拶 農林水産省 技術会議事務局 研究企画課長 羽子田知子
- 13:10-14:20 PGRAsia プロジェクトの概要と成果
- 13:10-13:15 プロジェクト概要 研究代表者 杉浦誠 (農研機構)
- 13:15-13:30 植物遺伝資源探索 奥泉久人 (農研機構)
- 13:30-13:50 ウリ科野菜の成果 加藤鎌司 (岡山大学)
- 13:50-14:10 ナス科野菜の成果 松島憲一 (信州大学)
- 14:10-14:20 質疑応答
- 14:20-14:30 休憩
- 14:30-16:00 遺伝資源に関する講演
- 14:30-15:00 「遺伝資源をめぐる国際情勢について」 潮田遼 (農林水産省大臣官房)
- 15:00-15:30 「国際農研におけるコロナ後の遺伝資源を含む海外活動」 金森紀仁 (国際農林水産業研究センター)
- 15:30-16:00 「ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP) におけるイネ属遺伝資源の利活用促進」 佐藤豊 (国立遺伝学研究所)
- 16:00 閉会

【参加申込】

参加を希望される方は、下記ウェブサイトの参加申し込みフォームより、必要事項を記入して登録をお願いいたします。

URL: https://www.gene.affrc.go.jp/event-ws_20231031.php

申込締め切り: 2023年10月24日(火) 17時

※定員になり次第、申込を終了させていただきます

(定員: 会場 150名、オンライン 100名)

【お問い合わせ先】

農研機構 遺伝資源研究センター PGRAsia 事務局

E-mail: office-PGRAsia@gene.affrc.go.jp